

幸田 露伴(こうだ ろはん)

資 料

短冊『戌申元旦 御手洗に 松影掬ふ 初神哉』

作 者

1867(慶応3). 7. 23-1947(昭和22). 7. 30

江戸(東京都)下谷生まれ。

『風流伝』や『五重塔』などの小説を書き作家なり、尾崎紅葉と人気を分かちあう。日露戦争後は史伝や歴史考証の分野で活動し、『芭蕉七部集評釈』などを発表する。昭和12年、第1回文化勲章を受賞する。

参考文献

『露伴全集(全44)』(蝸牛会／編 岩波書店 1949-1980. 3 [県立 918. 6/5/1-44])

『幸田露伴』(齋藤礎英／著 講談社 2009. 6 [県立 910. 26UU/2872(22329270)])

『幸田露伴論考』(登尾豊／著 学術出版会(学術叢書) 2006. 10 [県立 910. 26RR/2524(22033351)])

